友愛

発行所
友愛青年同志会
東京都文京区音羽町7の10　電話大塚（94）2801
編集兼発行人　渡辺　昇
定価　1部10円

日本青年団体国際委員会創立
TO CELEBRATE THE FOUNDATION OF THE INTERNATIONAL COUNCIL OF YOUTH ORGANIZATIONS IN JAPAN

国際交流の一本化をめざし、わが国青年の各層を占める青年学生団体は、去る10月27日午後2時より東京・丸ノ内の銀行クラブ会議室において「日本青年団体国際委員会」の創立総会を開いた。同総会には本会をはじめ20数団体の代表50名及びそれぞれの会員多数が集まり、趣意書、会則役員、事業計画をめ決午後4時閉会した。引続き同クラブ食堂ホールに会場をうつし、創立披露パーティーがおこなわれた。パーティーには、岸首相、松田文相、中曽根国務相、マッカーサー米国大使、足立東商会頭等内外名士及び各団体会員、関係者約400名が参加した。なお現在迄に国際委員会に正式参加している国体と役員は次の通りである。**常任理事**＝新庄勝助（日本都市青年団体協議会）熊谷辰次郎（日本青年連盟）宍戸英人（日本学農青年協会）渡辺秀雄（日本青年学生問題研究会）寒河江善秋（日本産業開発青年協会）斎藤浩一（日本学生総連合）小杉英司（日本働学青少年協議会）松木芳久（生長の家青年会）横山一之（青年アジア協会）平間希一（日本健青会）奥田吉郎（友愛青年同志会）**事務局長**＝中尾栄一（青年アジア協会）そのほか理事として各団体より一名が選出されている。

右は日本青年団体国際委員会創立総会・左は同被露パーティー

入会申込は支部または本部までハガキで一報下さい
東京都文京区音羽七ノ一〇
友愛青年同志会

―日独青少年交歓―

各支部で盛大な歓迎

既報の通り日独青少年交歓による西独政府派遣青少年団体代表団は途中飛行機故障のため予定が延びさる十月十八日羽田空港に到着した。予定されていた「日独青少年交歓中央大会」をはじめ日程を多少変更し、十一月一日まで全国各地を訪問、日独両国の交流を深めるために大きな役割をはたし十一月三日離日した。

盛大な中央大会

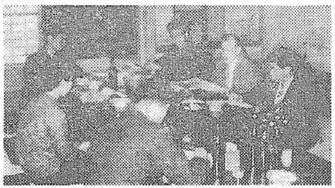
十月十七日開催予定の「日独青少年交歓中央大会」は代表団延着のため同二十四日に延期して開催された。当日は本会をはじめ日独青少年交歓実行委員会の各団体会員四〇〇名が明治大学91講堂をうめヨステン団長以下の西独青少年代表団を拍手をもって迎え、玉川大学合唱団の両国国歌合唱によって開会された。合唱をはさんでおこなわれた交歓会は参会者に深い感銘をあたえ盛会裡に午後四時閉会した。

上野支部（三重）で歓迎

西独代表団の訪問日程に入っている三重県上野市での交歓会には、昨年訪独した本会の浅井支部長をはじめ支部会員多数が参加するとともに同市の各施設視察にも役員が同行説明にあたるなど、代表団を温く迎えて談し歓た。

リッツ博士と懇談

多忙な日程を送る西独青少年代表のうち、最年少のリッツ氏（二八才＝農学博士）を十月二十六日本会で招き、鳩山邸離日本間において友好団体代表をも交えて約二時間半懇談した。農学博士であるリッツ氏は、特に農村における青年活動に関心を示し、本会の「農業技術交換」「農場派遣」の運動経過を熱心にメモして同三時半散会した。（下の写真はリッツ博士との懇談会）



友愛山荘を賞賛

西独代表尾道を見学

【尾道発】既報の西独政府派遣青少年団体代表者一行は予定の通り去る十月三十一日本会の招きで「尾道友愛山荘」を見学した。午後零時三十八分急行"筑紫"で尾道駅に到着、青山市長、北川登本会総務部長（兼財団法人日本友愛青年協会事務局長）始め、本会尾道支部会員など駅頭を埋めた二百名の盛大な出迎えを受け、ミス・尾道岡野さんから花束を贈られた一行は、駅長室で記者団と会見。

友愛青年同志会の招きを受け、尾道に建てられたユース・ホステル友愛山荘を見学に来た。この山荘は民間のものとして数少ないもので、立派なものだと大使館で是非みるよう奨められたと訪尾目的を語った後、出迎人らと特別仕立のバスに同乗し、文化学院女生徒八十名の拍手に笑顔でカメラを向けながら駅を出発、千光寺公園に向い友愛山荘での昼食懇談会に臨んだ。この日、山荘は秋晴れの陽光を浴びて、紫紺に黄の本会旗を真中に左右に日独両国旗が飾られ、代表到着と同時に"潜水艦西へ"のレコードがかけられて一行は思わずニッコリ。ホステル・ペアレント高橋最宣君（本会尾道支部長）の案内で山荘施設を熱心に見学した一行は、多年にわたるその努力を賞賛、建設委員長であった前市長天野彦三氏（現理事）を紹介されたヨステン団長は固い握手を交した。

昼食懇談会は、北川総務部長の司会で始まり、青山市長の歓迎の辞にヨステン団長（連邦議員）から、リッツ氏（カンリック青年団、農博）サース氏（レクリエーション）プッフフォルツ氏（スポーツ関係）の各代表の紹介があり、和やかな歓談に入った。

この後、ペナントを高橋君に、写真グラフを青山市長に贈った一行は、本会尾道支部女子会員から本会のバッチ、パンフレットの贈呈を受け、続いて菊人形展を見物、千光寺公園展望台から内海の秋景色を眺望して午後三時三十四分"宮島"で広島へ向け出発した。

離尾に際してヨステン団長は、友愛山荘が特に青年達独自の献身な努力によって建設されたことは注目すべきことであり、内部の設備も欧米に比して優れた点が多いとほめ讃え、今後の隆昌を期待すると関係者を激励した。

☆……【尾道友愛山荘での交歓会】……☆

バーマ会長（WAY）来日

国際委代表と意見交換

日本青年団体国際委員会の設立総会をひかえた十月中旬、W・A・Y（世界青年会議＝本部ジュネーブ）会長ラ ピンドラ・バーマ氏（インド）がひょっこり来日、同十六日赤坂"たまち"で、青年アジア協会中尾事務局長、健青会平間副委員長、本会 北川 総務部長らが会見、主としてWAYの活動を中心として、世界各国青年団体の実情について意見の交換を行なった。

バーマー会長は、特に世界人権宣言の昂揚を強調し、人権の尊厳は普遍的なものであるが、共産圏諸国の青年団体は、独裁政権の下に自主性を失い、自由な発言が出来ない状態に自らをおいていると非難した。ハンガリアはその典型であるが、しかしその他の地域でも例えばアルジェリヤ、ケニヤ、韓国、コンゴーにおいて、自由の抑圧がみられる。WAYは、本年I・L・O総会に「勤務青年憲章」を提案し、勤労青年の福祉の増進に努めていると語った。

W・A・Y… World Assembly of Youth（世界青年会議）の略称、世界各国青年団体の組織体で、加盟資格団体は全国的、自主的、民主的青年組織で一国一機関とし、主として自由諸国の団体が加盟している。現在、ユネスコ、保健、労働など国際連合の諸機構の諮問機関として青年の国際運動に大きな役割りを果してる。わが国では中央青年団体連絡協議会（日青協・YMCA・YWCA・ボーイスカウトなどが参加）が加盟している。この他国際青年機関としては、W・F・D・Y（世界民主青年連盟＝本部ブタペスト）があり、わが国では民青連等の革新系青年団体が加盟している。

＝社教法施行＝

十周年記念祝典

青年運動には関係の深い法律である「社会教育法」が施行されてから今年で十年になるので、文部省では、これを機会に社会教育につくした功労者を表彰するとともに十周年記念行事を去る十一月二日午前十時より東京・虎ノ門の社会事業会館でおこなった。当日は記念式典に引続き森戸辰男氏（広島大学々長）の記念講演、祝宴、民俗芸能等多彩な催しがあり、本会からも奥田幹事長が出席した。

＝第十回幹事会＝

十一月二十九日　東京で開催

本年度後半の具体的運動方針並びに当面の諸問題を討議決定するため第十回幹事会を来る十一月二十九日午前十時より東京・音羽の鳩山邸離において開催することになった。

提出される議題は、一、昭和三十四年度下半期運動方針並びに事業計画。一、台風被災地救援運動及び歳末助け合い運動に関する件一、国民年金制度普及協力に関する。件一、カレルギー伯日本招待に関する件の四議題で、幹事会終了後最近の本会をめぐるいろいろな問題を討論し、変転きわまりない社会情勢に充分対処できる体制を整えるようにする。

＝第八回全国青年大会＝

勤労青年の祭典

全国の町や村で働いている勤労青年の一大祭典である「第八回全国青年大会」は十一月十一日午後一時東京・明治神宮外苑の国立陸上競技場でおこなわれる開会式をもって幕を開けることになった。同大会は例年通り、体育・文化・芸能の各分野にわたって、それぞれ

七月一日開荘以来、皆様方の御利用をお願いしてきた軽井沢友愛山荘は、十一月三日をもって一応閉鎖することになりました。明年は五月一日より開荘する予定でありますが、略儀ながら紙上をかりて、御協力下さいました方々及び御利用下さいました方々に御礼申し上げるとともに御知らせする次第であります。

昭和三十四年十一月
財団法人日本友愛青年協会
軽井沢友愛山荘

青年海外派遣

第一陣帰る

青年海外派遣団ヨーロッパ班藤田団長以下二十名は去る七月二十一日出発以来約三ヵ月ヨーロッパ各国を訪問していたが、十月二十八日午後六時四十分羽田着日航機で無事帰国した。

なお本会の川手、吾妻両君の参加している。アメリカ班・東南アジア班も日程通り各地を歴防中で、元気なたよりがあった。両君の帰国は十二月中旬の予定である。

厚い信用・堅実な経営
第一證券
本店　東京・日本橋・三越前

直言

▽数時間のうちに六千名の尊い命をうばった伊勢湾台風の惨害は、あまりの大きさ故にいまだ癒ず二ヵ月を過ぎた今日においても、水浸しの街や廃墟の土地に被災者はみじめな生活をよぎなくされている。冬も近ずくというのにそれらの人々の気持はどんなであろうか、われ[illegible]の救援運動もまだまだという感がある。

▽それにつけてもこのような大きな災害に対し、一体誰が責任を負うのかと考えることがある。単に天災といってあきらめてしまえばそれまでだが、それにしてはあまりにも惨めである。よく人災という言葉を聞くが、今回の場合も堤防が完全であったならとか、予報に万全を期していたらこんな大きな災害にならず、最少限にくい止められたのではないかという人も多いので、大いに考えさせられる言葉である。

▽このような時に東京都の葛飾にある荒川の水門決壊を検察当局は監督官庁の手落として書類送検し責任を明らかにすることになった。また一方、愛知県下の一農民は、国家を相手どって損害賠償の訴訟を起した。日本国憲法は国家賠償を保障し、国家賠償法によって国や地方公共団体に手落があって被害を受けた場合は、損害を賠償することになっているのである。

▽まず災害の原因はさておくとして、その後の救援作業にしてからが問題である。救援作業を毎度のことながら自衛隊にまかせきりというわけでもなかろうが、なぜかおくれているようである。そこで名古屋の場合のように、保守系知事と革新系市長の確執による連絡不充分などという噂が流れるようになり、かんじんな救援対策とは全然別な方向で論議するようなことになってしまうのではなかろうか。

▽現在の行政組織は責任をなすり合いできるようになっていると、うがった見方をすればなるほどとうなずけるとしても、政治というものはそれを乗り越えてじかに国民大衆に手をさしのべねばならないと考える。政府もこの際「無責任な組織」と「非人間性な組織」にメスを入れ、救援運動と復旧作業を大いにやってもらいたいものである。

好評にあまえるな

友愛山荘に対する評価は、わが国ユース・ホステル中最高の利用者を数えた軽井沢友愛山荘の運営状況によってもわかるように、日増に高まってきている。尾道においてもまたしかり、われわれの努力がようやく実を結ぶとき、実際に運営してみて得たいろいろな経験を、反省の良き材料として好評にあまえることなく、今後一段と努力を傾ける考えである。

友愛山荘を運営して

「軽井沢」といえば上流社会人の別荘地だという観念を永い間持ち続けた全国の人達も、今や若人達の健康な地として開放され古い観念を改められるに至った。その証拠として「軽井沢友愛山荘」「軽井沢ユースホステル」の出現であり、更に、会社寮、学校夏期寮の建設、スポーツ教育施設も相次いで力強く進められている。

友愛山荘は過去五ヵ年の不自由な間借生活から始めて自活し、六月二十八日竣工式を挙工七月一日に開荘した。夏期二ヵ月間の宿泊者実数は招待児童を含めて一五二九名（女性八七〇名）宿泊者延数は三五三九名という成績である。

軽井沢を求めて来る若人は年々増加し、さらに軽井沢の寿命も横に長く延びる傾向をもたらして来た。元来、軽井沢を知っている人と云えば夏の避暑期間中であったものが冬のスケート、春には美くしいツヂを、そして秋には全山燃える様な紅葉を楽しみに来る人々に賑って来た。殆んどのホテルが夏だけの様に友愛山荘もそれに準じてはいるが、近い将来年間を通じて開設し、利用されることを望んでいる。

宿泊可能人員一三〇名（内テント六〇名）の大世帯になると、まず苦労するのはスタッフであり、全員の献身的奉仕には頭の下がる思いだったが、利用された各位からの礼状は疲れた身体を快よくいやし、翌日は再び元気よく勤めてくれた。その有難い礼状も本夏は五百余通にのぼり整理されて机上にある。一通一通に実感があり、それを読むたびに楽しく夏を再現させてくれる。

軽井沢の人気もさることながら、友愛山荘に集中でたことは、スタッフ全員の奉仕の賜ではあるが、特に二名の栄養士嬢のことを忘れることはできない。

油野豊さん、川久保祐子さんの二人である。御二人とも神奈川県立栄養短期大学の卒業生であり、小さい身体でありながら、一日十五時間以上の重労働を苦ともせず鮮かな腕前をみせてくれた。文字通り四〇〇〇名の発動原であったわけである。

七月初旬ユースホステル指導者講習会があり四〇〇名の指導者諸氏が分散して各ユースホステルに宿泊、当友愛山荘にもその一班が宿泊し、翌日八ヶ岳ユースホステルに集結、講評会において友愛山荘の食事は断然他ホステルを引き離して最高の人気を博したということであるが、これも両嬢の愛情ある料理が多くの人に知って頂いた結果である。

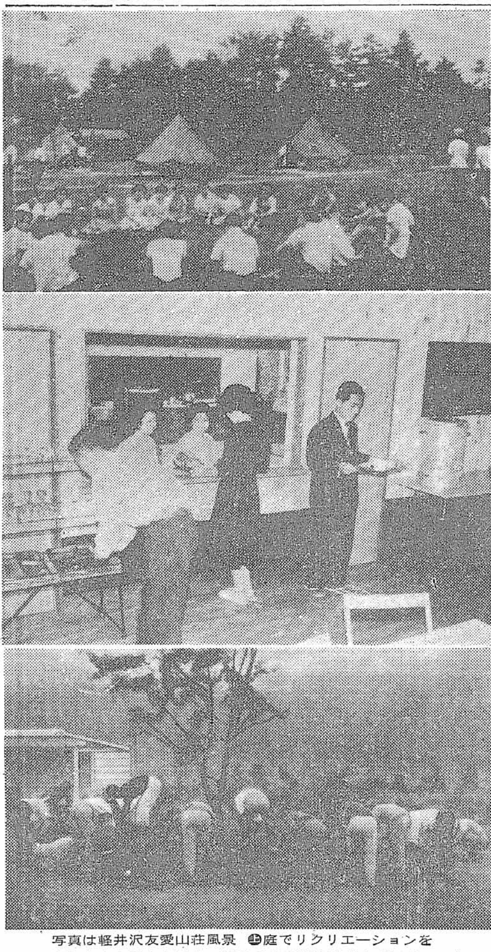
上質ステンレスのランチ皿、部厚く暖かみあるモーニングカップは特に利用者を喜こばせ、何処のホステルでも真似ることの出来ない朝食ートーストにコーヒーや紅茶の献立は友愛山荘ならでは出来ない。又、日本橋ミカドコーヒー商会からは、七月、八月中の日曜日朝、宿泊者全員へコーヒーの無料サービスもあった。六時起床して洗面掃除の後、従来までの日本的な「梅干に緑茶」形式を破ったコーヒーは喜ばれ、緑濃い樹木を眺めある朝は霧の深い流れを眺めてスッたコーヒーの人気も素晴しいものであり、雪に覆われたスイスの山奥を連想させるものであった。この紙上改めて同店の御協力に感謝の意を表したい。

友愛山荘の夏は間断なく山荘全体が活動していた。玄関前の車回りは女性の自転車練習所となり、庭は野球、卓球、バトミントン、バレーボール、フォークダンス、キャンプファイヤー、等の総合グランドと化し、夜はホールにおいて研究会、ゲーム、音楽会、等に毎日利用された。その為植付けた芝も痛みはしたものゝ宿泊者の喜びには代えられないものであり、新しく購入した自転車もそれ以上夏の想出を語るように傷を負っている。

とりとめなく夏の軽井沢友愛山荘の想い出を書いてみたが、一度利用した方が二度三度と毎月利用され、多くの方が来年を期待していることもつけ加えさせて頂き、冬眠期間中に充分な準備をしておきたいと思う。

いずれ機会があれば更に細い点についても記したい。

最後に、この運動に暖かい御援助を下さった全国の各位へ厚く御礼申し上げたい。（早川忠光）


写真は軽井沢友愛山荘風景 ㊤庭でリクリエーションを楽しむ人々㊥セルフサービスの食事㊦宿泊者も草取り

尾道友愛山荘利用状況

運営に十分な配慮

本年五月開荘以来の尾道友愛山荘利用者は、五月（宿泊者七〇名・会場使用三〇〇名）六月（宿泊者一〇〇名・会場使用五〇〇名）七月（宿泊者二二八名・会場使用四五〇名）八月（宿泊者四〇三名・会場使用二〇〇名）九月（宿泊者一〇〇名・会場使用四八〇名）と次第に増加の傾向をたどっている尾道は、軽井沢と異なり年間を通じて開設している関係上今後相当な利用者がある見込で、特に友愛山荘に対する各方面の好評はそれに拍車をかけるであろう。

しかし一ヵ月五〇〇名程度を目標にしている同山荘としては、会場使用者の割に宿泊者が少ないので各方面への呼びかけを一層積極的におこなわなければならない。またある利用者からの手紙に「友愛山荘はりっぱな建物である。あれだけの建物でありながら設備が充分でないようだ。近代建物に対し内部をも調和すれば一層りっぱになるのだが」と書いてあることでもわかるようにベットや炊事場、付属設備等に対する苦言も聞かれる。われわれはとぼしい財政の中から、わが国ではじめての青年の手によるユース・ホステルを建設したという自負は持ちながらも、利用者が指摘するような点も充分わかっているのである。それ故に運営の面に力を注ぎ利用者をして「友愛山荘に泊って良かった」という気持になってもらうよう努力している。友愛山荘への理解が深まることによって設備の点も改善されるであろうが、現状においてはわれわれの誠意を汲みとってもらうことが大切ではなかろうか。

台風被災地救援運動

復興の先頭に立つ会員

台風十五号（伊勢湾台風）の被災者に愛の手をさしのべようと、全国の各支部では積極的な救援運動を展開している。遠く北海道の同志は街頭に宣伝カーを走らせ、救援運動の先頭に立ち一般の人々にも呼びかけている。会員間の募金、物品の持寄り運動も活発で、すでに現地の会員の手にとどけられている。

今回の伊勢湾台風による本会関係の被災者は桑名市（三重）半田市（愛知）に多く、桑名市などは、全会員が被災し現在なお水びたしになっているところがある。本会では現地からの報告及び現地を視察した北川総務部長の報告を聞き引続き救援運動を展開することになった。

このような大被害にもかゝわらず現地の会員諸君は、いち早く救援運動の先頭に立ち、復興にも積極的に協力している。

しかし、これ程の災害とそれに続く混乱に際し、個人の力や一団体の力ではどうにもならないことをつくづく感じさせられたのである。現在迄に災害地に対しては各種の応急措置がとられ、災害克服予算ともいわれる補正予算の編成も終り、来年度予算では恒久対策としての治山治水事業計画に本腰を入れるようであるが、泥ナワ的なことが多く批判があがるのも無理がないようである。

今度の台風被害をきっかけに災害基本法が通常国会に提出される予定であり、その内容をみると❶災害警報基準❷警報通達組織の強化❸警官出動を自動的にするため予算をふやす❹災害対策費を通常経費として計上する❺自衛隊の出動を容易にする。というようなことが主体となっていることでもわかるように、災害にともなういろいろな欠陥を一応解決しようとすることはうなずけるが、根本的な対策としては線の弱いものであるといわねばならない。

首都建設に挺進

東京都青年団体協議会結成

東京都内では、先般来各区の青年団体相互の交流が盛んになり、まず区青協の結成がめだってきた。

そこでこんどは都青協へと発展させる気運が高まり、各区青協代表の話し合いが再三おこなわれ、去る十一月一日午後一時より、日比谷図書館大会議室で「東京都青年団体協議会」結成大会を開催した。当日は各区青協の代表を中心に各種青年団体代表が参集し、運動方針をはじめ会則・役員等を決め、首都建設の推進力たらんと力強い第一歩をふみ出した。

なお同協議会の副会長に本会の五十嵐省吾君（常任幹事）が選出された。

【綱　領】

一、私達は心身を修練しよりよき個人の完成に努めます。

一、私達は友愛と共励を信条として団結します。

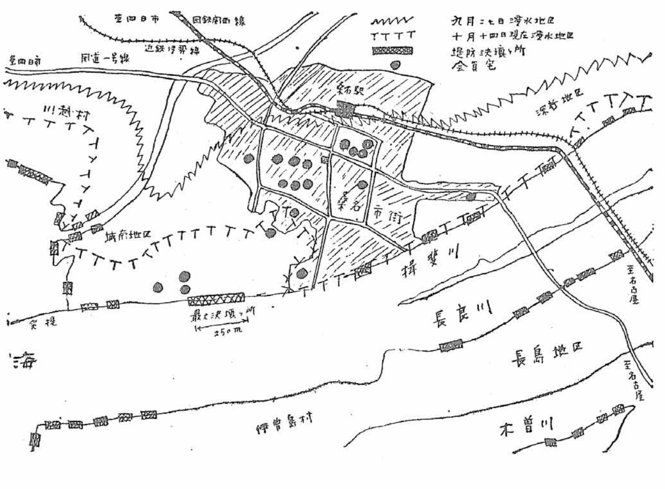
一、私達は住みよい首都社会の建設に努めます。

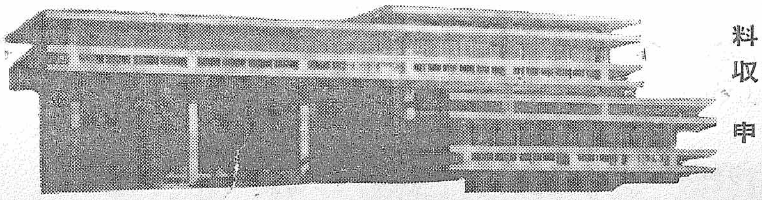
一、私達は人類愛と正義を以って世界平和に努めます。

【役　員】

会長　松村圭樹（千代区田青協）
副会長　川井和夫（台東区青協）
同　五十嵐省吾（墨田区青協）
同　根上修司（中野区青協）
同　今井大六（北区青協）
同　杉本秀男（目黒区青協）
事務局長　田中充（杉並区青協）

伊勢湾台風　桑名市の被災状況




瀬戸内海を一望　友愛山荘　—尾道—

料　金　350円（一泊二食付）
収容人員　70名
申込先
・広島県尾道市千光寺公園内　尾道友愛山荘
TEL 尾道 5554
・東京都文京区音羽町7の10
日本友愛青年協会
TEL (94) 2801

アフリカ紀行（3）

深津栄一

アフリカの旅

アフリカの旅は、非常に多くの困難がともなうばかりでなく、非常に疲れる――精神的にも、肉体的にも――仕事であった。それは未見の土地であり、すべてがもの珍らしくまた、新しくあった。

けれども、異国での一人旅が、たえず孤独と焦慮を感じさせ、病気になったときの恐怖が、私を常におびやかした。アフリカでの一ヵ月、私はすべて洋式のホテルで寝、ホテルで食事した。街には現地人のレストランはあっても、私は「こわくて」そこで売っている食物に手が出なかった。マーケットでも食物を売る店が並んでいたが、それは、私にとって何か「得体のしれないもの」としか思われなかった。あげたもの、煮たもの焼いたもの、木の葉にくるんだもののその殆んどが異様な臭気を放ち私のカメラの目的物となることはあってもとうてい「食物」とはなり得ないもののように思われた。

こうして、私の旅は、ホテル暮しと、ホテルでの食事のために非常に高価なものについた。「宿屋の飯」は世界中どこへ行っても高いことは常識である。それに悪いことに三度三度の食事をホテルに「帰って」食べなければならなかった私は、そのアフリカでの「行動」を甚だしく制限された。朝食はホテルで、昼はスナック・バーか公園のベンチでサンドウィッチを、夜は出先のレストランでという具合には行かなかったからである。「旅なれ」していることに多少自信のある私でも、これには困った。朝は早くおきた。ホテルの食堂が開くやいなや私は、すぐ食事をした。そして午前中をフルにつかって、調査や見学についやした。そしてホテルでの昼食がすむと必ず二時間位の「昼寝」をした。これは暑い土地では決してかかせないものであった。そして昼寝を終るとシャワーに入って、あとはカメラだけをぶらさげて街に出た。汗をかゝないようにできるだけゆっくりと歩く。そして夜は扇風機をまわしながら昼間集めた資料やパンフレット、それにフイルムの整理、最後に日記をつけて寝た。

白人の墓場

西アフリカはかつて「白人の墓場」といわれた。暑い、そして湿度の高いその地上は、悪質の伝染病にとってうってつけである。それに毒蛇、毒虫、猛獣、そして人食人種、およそこの土地でもっとも人間の生存をおびやかすようなものが、そこにある。百名近く集まったナイジェリア、イバダンでの国際会議でも、六人のマラリヤ患者がでた。毎朝、食卓にマラリヤの薬がびんごと運ばれて、みんな順おくりにして一つぶずつのんだ。しかしマラリヤ蚊はすべての人間を公平にさす。そしてたとえ抗マラリヤ剤をのんでいたとしても、それぞれの体質によって、ひどくかかったり、かからなかったりする。私は毎晩「かや」をつってねたが、それでも心配であったので、室をしめ切り「バルサン」をねる前に必ずたいた。「黒い蛇」と呼ばれて恐れられている「コブラ」は、これにかまれたら、十五分以内に血清をうたないと確実に死ぬ。「黄熱病」は今日都市ではほとんど見られなくなったが、都市を一歩はなれると、今日いまだに猛威をふるっている。ナイジェリアが英領でありながら、英国の支配がそんなに強くなく、アフリカ人の意識が高いのも、一つはこの黄熱病が、白人の奥地への侵入を妨げたからだといわれている。

㊤ガーナのアクラ市中心街㊦ナイジェリアのイバダン市街

飛行機の旅

アフリカの旅の困難さは、すでに述べたような病気や、ホテル暮らしの不便さや食事だけにあるのではない。最も重要な交通機関の不便さが更にその困難さを決定的にする。今これを書いている私の机の上にガーナ航空会社と西アフリカ航空会社の時間表があるが、それを刻明に調べてみても、アフリカでの旅が容易でないことに気づく。西アフリカを主目的として私ははじめこの地域の国を一つづつ東から西に廻る計画をたて、国から国に旅行するときは飛行機を利用し、国内は他の交通機関を利用しようと考えた。そして一つの国に三日乃至四日を予定した。しかし、そこには、うまい具合に連絡する飛行機がないのである。例えばナイジェリアに二週間いてガーナは一週間、アビジャンに三日リベリアのモンロビジャンに四日という具合に、その国の重要性其の他を考慮に入れたスケジュールをたてても、それは結局無駄であった。航空会社は、イギリス系とフランス系とでは別のルートをとぶ。それぞれ自国の植民地だけをとんでいる。だから私のように西から順序にまわるためにはその地域、その地域で別の飛行機にのりかえなければならない。一つの飛行機をのがすと一週間近く待たなければ次の飛行機がない。見るもののない密林の中の街にたゞ「飛行機を待つ」ために滞在しなければならない。こうして、私は、はじめ日本を出発する前にたてた日程をすべて白紙にもどして、改めてつくりなおした。ところが相手は能率の極端にわるい黒人である。飛行機会社の職員ですら、私の見るかぎりでは、ほとんど「旅客を扱う能力がない」と思われるほどのシロモノである。

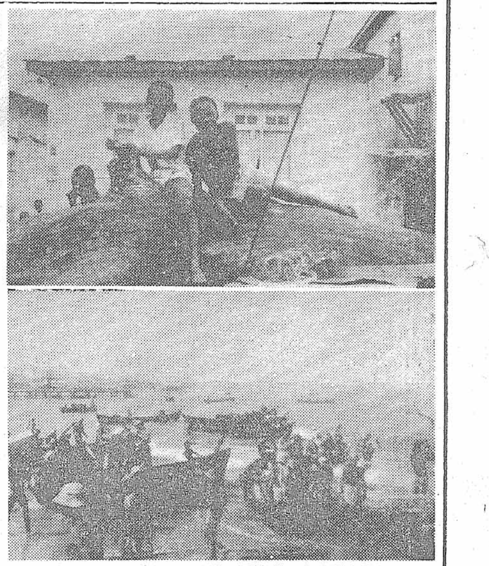
さんざんの苦労の末、目ざす飛行場についても、まず困るのは街のホテルまでのタクシーである。私はナイジェリアのラゴスの飛行場からイバダン大学までタクシーをとばしたが百哩近くあると聞いていたので相当とられると覚悟していたが、そのタクシー代が何と十二ポ（一万二千円）であった。リベリアのモンロビアの飛行場は街からとてつもなく遠いところにある。たしか十五ドル払ったと思う。こうして日に日に少くなって行く財布の中味を考えながら旅行していると、次第にカミナリでもカミカゼでも安い方がよいという気になる。

アフリカの運転手

現地人の交通機関は「ローリー」と呼ばれるトラックに屋根をつけたような恐ろしくきたない自動車である。これが、これ以上人を積めこめまいと思われるほどにギッシリ黒人をのせて走っている。どんな皮膚病があるかもわからないし、このローリーが毎日事故をおこしていると聞いた私は、これに乗る気にはなれなかった。そこで、ガーナのアクラではもっぱらタクシーに乗ることに決め、ホテルの前にとまっているタクシーの運転手を呼んで相談した。前々号で書いたように例によって例のごとく、さまざまな「かけひき」が行われた後に、結局一時間十五シリング（約七五〇円）で折合いがついた。それも、私がそこに滞在中「毎日」そのタクシーを利用するという条件づきであった。勿論その料金の外にチップを払うことは言うまでもない。こうして私は、調査や資料をもらうための役所まわりや見物には、もっぱらそのタクシーで思った時に、思う場所に行くことができた。その運転手は「安全」であることについては申分がなかった。非常にノロノロ走る。しかしこの「安全さ」も、結局「時間制」であるところから来た彼の知恵であることにあとで気付いたが、事故でけがをしたり死んだりするよりはましだと思っていた。

最初の朝、私は彼の前にガーナの地図をひろげて、今日行くべき場所を順次にさし示しながら、その経路はここからこうと丁寧に説明した。日本人の運転手ならば「くどい」と言っておこりだす程詳細をきわめた説明であった。ところが私の説明が終って「さあ、行こう」と後から声をかけても、車は一向走り出す気配が見えなかった。「行くんだ」と私はどなった。ところがおどろいたことには「どこに行きますか？」とけげんそうに聞いたのだ。腹をたてた私は地図を改めて彼の前につき出した。目的の場所を指先でたたいた。結局車が走り出したのは私がその場所の名を言ってからであった。そして彼に、地図を見るという「観念」が全然ないということに気付いたのは、そこから二番目の場所に行きつくべく走り出した時であった。

こうして、私は地図を見せて彼の――運転手である！――方向感覚を混乱させるよりは、場所の名前を大声でどなることが、はるかに早道であるということに気付いたのであった。



上はナイジェリアの子供、下はガーナのアクラ港

波止場のない港

そういう運転手ではあったが、アフリカでの旅行中もっとも順調に旅行ができた場所はガーナであった。今、私は、日本に帰ってこの文章を書きながら心から彼に感謝している。総額にして二〇〇ポ近い金を彼に支払ったが、彼は、私が全然予定だにしていなかった、そして また極めて興味ある「場所」に私をつれて行ってくれた。

そして何よりもまず「安全感」があった。彼は、私が前日に命じた時間と場所に正確にそのボロ自動車にのって現われた。これはアフリカでは、まさに稀有のことに属する。毎日一箇づつ私はパイナップルを食べたが、安いそして良質のものを売っているところに彼は私を案内した。三日ごろから彼は私の旅行の目的が、どんな性質のものかほぼ 理解したよう であった。そして、いろいろな助言や示唆をすら与えてくれるようになった。

そういう場所の一つとして、私が未だに忘れることのできない光景を見た「ガーナの港」がある。この港は、アフリカでは特異の性格をもった港である。それは砂浜があるだけの港である。荷揚げのための波止場もなければ埠頭は勿論起重機もない。砂浜と、二、三の倉庫があるに過ぎない。

遠浅であるその港――港とは到底呼び得ないが――での荷揚げはすべて「はしけ」による沖取りである。貨物船はすべて港外はるか沖に碇泊する。「はしけ」はそこまで一隻に十人位の人夫に漕がれて――エンジンは勿論ない――荷物を積みに行く。この「はしけ」がその「砂浜」に着き、荷物を揚げている光景は、すさまじいとも壮観とも何とも言いようがない。わめき、さけび、そして、人夫が人夫をしった激励する声が入りまじって、耳につきさゝるように聞こえる（奴隷[illegible]と言うのはこのようなことを言うのであろう）。荷をかついでいる者、「はしけ」にたまった水をくみ出している者、たえず大西洋の荒波が海岸に打ちよせ、ために流されようとするはしけをさゝえている者、その光景は見ていても息がつまるばかりである。波に濡れて黒光りするほどの真黒な皮膚、黒いはしけ、真新しい木箱の貨物、青いどこまでもつづく海に立つ白い波頭。今でも、ありありとその光景を思いうかべることができる程強烈な印象を、私は受けた。

あとで、日本の商社の人から、このような原始的な港であるから日本からの商品、とくに繊維類がぬれていつも困っているという話を聞いた。しかし私は日本から送られる綿布に泌み込んだ潮水は、波止場のない港に働く彼等の「汗」と「なみだ」であるように思われてならなかった。

就職試験にみる 現代学生気質

来春卒業を控えた学生にとって一番の難関である就職試験も、ひとわたり終り、受験した学生達も結果はともかく、ほっとした気持になっていることであろう。そこで学生報道連盟の記者が、おもな会社の試験委員に「現代学生気質」を中心に語ってもらった記事を掲載することにした。

合理的で打算的

試験委員に聞くと、だれもが「合理的になりましたね」という。合理的な考え方、融合的で人ざわりがよく、学生らしく、学力も前より向上して質もそろってきたというのが今年の受験生たちに対する一般的な意見である。これはまるで推薦状の文書のようなめかただが、そのことばの裏には多分に批判的な意味が含まれている。合理的というのは、自分に対して合理的なのでいわば利己主義。そのうえ、理想もなく、目先にとらわれた打算主義で、情熱に欠け昔のように青春を謳歌する学生が少いようだ。日興証券の大峡人事課長は「現代の学生は、ちょっとタバコを吸って、ちょっと酒をのみ、ちょっと恋愛をして、ちょっと学生運動に参加して四年間の大学生活をすごしてしまう。成績でAの数をそろえておけばよいと考えている学生が多い」といい、「最近の学生は一様に型にはまっていてハリがない」（大蔵省人事課）という声すらきかれる。ハリがなくて打算的ということはほとんどの試験委員の一致した声だが、とくに日本郵船総務部の大久保氏は「[illegible]と、とたんに優秀な学生がこなくなる。合理的といえば合理的だが、あまりにも目先きにとらわれてしまっている。もっと将来を見つめるだけの余裕が欲しい」と端的に語っている。

「人柄」重視の傾向

それでは求人側ののぞむ学生とはどんな人なのか。「入学試験と就職試験とのちがいをはっきりと知ってほしい」（日興証券）というように、ほとんどの会社が学業成績や筆記試験よりも面接にポイントを置いているように、明朗で積極的、協調性のある人物を求めている。「会社というものはチーム・ワークを必要とするのだから協調性のある人、身体強健な人が欲しい」（日本石油）「事務系は人格者技術系は天才」（八幡製鉄）というのがいつわらざる声のようだ。ここで事務系、技術系のことがでたが、両者の受験生について八幡製鉄の人事課長のはなしがおもしろい。事務系を受ける学生は競争もはげしいので極めて真剣な態度、[illegible]が多くなってきたが、理科系[illegible]勉強不足で、学力の差がはなはだしいという。人物、人柄について[illegible]思想問題についても、重視する傾向[illegible]

早くなった採用通知

最近の就職試験は、一般的に採用通知が早くなったようだ。これは入社試験の方法が簡単になったためで、この傾向は景気がよくなるにつれて、ますます拍車をかけられるようだ。これは学校当局に二つ以上の会社を受験した場合に採用通知が早くきた会社に就職を決める、という規則をつくっているのが多いからだ。早く採用を決めないと優秀な人材を他の会社にとられてしまうから、いきおい求人側も[illegible]。日立製作所では採用試験が終ると同時に、優秀者のみに即日合格通知を出し、[illegible]二日、三日と遅れて通知する方法をとっている。官庁でも、正式面接日の前に内定する（大蔵省）ところもある。とかく求人側は人材獲得に神経を痛めているようである。

コネに神経質すぎる

この反面、あとを絶たないのがコネである。コネについては学生側、求人側ともに頭をいためているようだ。「受験生はコネに神経質すぎるのではないか。すべての受験生がコネをもっているわけではない。結局はコネつき受験生どうしの競争で結果はコネは変らない」（八幡製鉄）、「コネは就職試験に絶対関係ない」（協和銀行）など、一般に試験委員はコネにたいして不愉快な感じを抱いているようだ。「縁故募集」で通っている日本石油と三菱では「家庭の事情をよく知っている人に入ってもらいたいからだ。誰の縁故だからといって差はつけない」と説明している。また花森安治氏の暮しの手帖社にいたっては「コネを付けてきたものは、まず第一に落す」とはっきり試験要項でうたっているのもおもしろい。

地方大学生は不利

最後に一般的に不利だといわれる地方大学生について、試験委員は[illegible]「今年は推薦校を四十八校にふやした。地方大学にも山形、弘前、[illegible]」（日本郵船）という会社もある。[illegible]一種の伝統[illegible]（日興証券）[illegible]（八幡製鉄）[illegible]

友愛俳壇

内山　草堂選

天　会津若松　後藤　追洲

鵙鳴しげし一しの飯みな細く

地　横須賀　高野　政利

秋闌けて開くや妹の窓のぬくみ

人　東京　円城寺　里

秋の夜の冷めたきレール独り聴く

人　会津若松　後藤　亀代

野分やんで夕べ厨に魚捌く

秀句

岐阜　高山　朔

台風に枯れて紅葉は赤からず

会津若松　後藤　亀代

手力で秋晴れきりつ土手を往く

東京　円城寺　里

風匂ふ出水のあとの夕餉

横須賀　高野　政利

砂利採りのおのが影踏む秋の風

会津若松　後藤　追洲

黄昏の裏山にあり[illegible]

東京　来栖　五竹

夕べ踏む枯葉深閑と旅

群れ鳥や風垣を組む村の浜

大根の役目ゆさぶり稲束

割れたるが柄にさびし　ざくろの実

（選者吟）

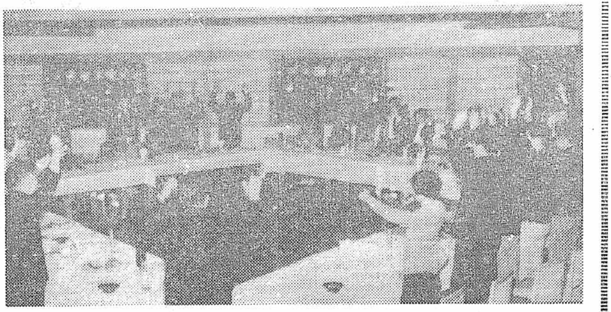
秋服の首長くして ネッタレス

秋服のベレーは横にかぶるものか

○冬の句を募る

―関西学生部―

結成を機に大きく飛躍

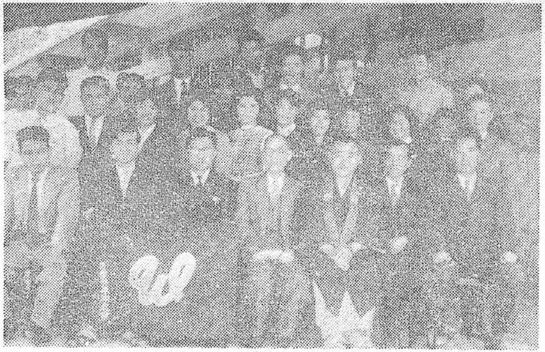


関西学生部の結成は本会結成以来の懸案で、関西各大学の会員有志が再三にわたり努力を傾けていたところである。特に本年度に入り関東学生部よりの積極的な働きかけがあって、その結成気運は急速に高まり、準備委員会も発足し、本部との打ち合せもすんだので去る10月20日大阪迎賓館大閤園で結成大会を開いた。結成大会には本部より柳沢常任幹事、関東学生部より宮田靖君が出席したのをはじめ、関西学生部結成に力強い協力をしていたゞいた北田英穂氏（美術家）等の関係者及び関西各大学の代表50名が参集しておこなわれた。関西学生部の特色として非常に文化的色彩の濃い運動を計画している。なお関西学生部の役員及び事務所は次の通りである。

委員長＝山口剛史（近畿大）副委員長＝大久保久雄（近畿大）委員＝鳴田晃三（大阪商大）青木文子（相愛女子大）鎌田邦子（神戸樟蔭女子大）佐野美栄子（京成安女子大）奈良真理（天王子予備校）小川康治（近畿大）日留田信之（関西大）小林輝雄（大阪工大）明見正（夕陽ヶ丘予備校）伊藤勝紘（関学大）新谷和之（桃山学院大）相見充之（近畿大）仲昌男（京都学芸大）渡辺三泰（立命館大）松原美智（大阪樟蔭女子大）事務所＝大阪市南区心斎橋筋２心斎橋ロビー文化教室内

第二回新生活運動研修会

青少年育成問題をめぐって活発に討論



（研修会の講師及び参加者）

【尾道発】第二回新生活運動研修会（青少年の健全育成運動のために）は、十月十六、十七、十八日の三日間、広島県尾道市の「友愛山荘」で開催された。

今回のテーマは、第六回全国大会で決定された青少年の健全育成運動をとりあげ、主として中国地方の会員を中心として行はれたが、遠く福島県猪苗代支部より参加があり関西地方からも、京都、大阪兵庫の各府県から集まって総員四十二名に達した。

開会式は柳沢定勝常任幹事の司会に始められ、中央青少年問題協議会調査課長鈴木猛氏、文部省社会教育官大志万準治氏の挨拶、地元側より、尾道市社会教育課長、社会福祉事務所々長の挨拶、本部代表奥田吉郎幹事長の激励、参加者代表清水文夫君（猪苗代支部）の宣誓が終って、高らかに友愛の歌を合唱、研修会の幕は切って落された。

講師は別表の通りであるが、研修会参加者の声を紹介しよう。

A君＝写真では見ていたが友愛山荘の素晴らしいのには驚いた。早く大阪にも山荘が欲しい。

B君＝講義が少しむつかし過ぎたもっとリクリエーションをとり入れて楽しみもある研修会にしたい。

C嬢＝規律ある生活は気持がいいが乱すものは取締って欲しい。

D君＝友愛運動を展開することがたゞちに青少年の健全育成運動につながるであろう。

E君＝具体的な取組みが必要、愛情と協力の精神が大切である。

F嬢＝中国近県の参加者が少い。本部の連絡は、親切且丁寧に。

講師及び研究テーマ

青少年の健全育成についての概況
　中青協調査課長　鈴木　猛
アフリカの青年運動
　中央教育指導部長　深津　栄一
友愛による青少年健全育成運動
　幹事長　奥田　吉郎
昨日から明日へ
　尾道短大学長　田中　稲穂
欲しいもの
　福善寺住職　大田垣正円
新生活と青少年活動
　新生活運動協会理事　安積　得也
討論会
青少年の健全育成運動をどうすゝめるか
反省会
研修会をどう取り組んだか

山口支部尾道支部交歓会

山口支部と尾道支部との会員交歓会は、先般の尾道における第二回新生活運動研修会に山口支部の鎌田修次君が参加した機会に打ち合わせをおこない、その結果来る十一月二十三日山口支部及びその周辺の支部会員約六十名（男三十名女三十名）が尾道友愛山荘見学を兼ねて尾道支部を訪ねることになった。

社会保障制度の綜合調整

社会保障制度の二大支柱である国民健康保険の全面実施及び国民年金制度の実現等一応の形を整えつゝあるわが国の社会保障制度も、制度そのものを作ることに重点が置かれたきらいがあるため、各制度間の不均衡がめだち今後の課題として残されていた。この点については前々から社会保障制度全般にわたる綜合調整に関する基本的構想の立案を急ぐよう政府に要望する声は強く、いろいろと意見が出されていた。政府でも去る十月一日ようやく社会保障制度審議会に対し「社会保障制度の総合調整に関する基本方策」について諮問をおこない、本腰を入れる。

予想される問題点

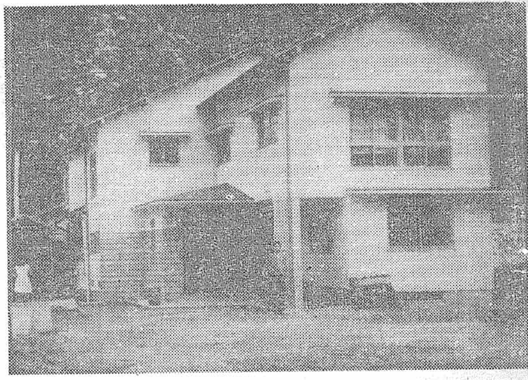
この社会保障制度の総合調整に関する基本方策の審議に際し、予想される問題点として、次のような問題が考えられている。

一、給付水準、給付内容
　給付内容の均質性、給付の範囲給付方法、給付割合、その他につき各制度の給付水準の統一
二、受給要件
　被保険者期間の通算調整、資格年令、資格期間、廃疾認定、遺族範囲、その他受給要件の差異
三、賃金算定方法
　標準報酬方式と実額方式並びに報酬範囲
四、費用
　保険料額、料率の適否、国庫負担
五、積立金
　積立方代、性格、運用方法
六、その他
　（一）被用者保険徴収窓口の一元化、企画と現業の分離、法源統一に伴う機構の問題
　（二）保険制度と他の制度との関連
　（三）その他

本会創立当初からの古い仲間であり、事務局長として全国の会員もよくご存知の渡辺昇君は、このたび本多良子さんと目出度く華燭の典を挙げられることになりました。ついては、全国の会員の皆さんを始め多くの方々と共に会をあげてお祝いをしたいと思いますので、十二月十一日（金）午後一時半から菊花薫る椿山荘（文京区関口台町）において、お二人の前途を祝福して「披露祝賀パーティー」を催すことになりました。万障くり合せて御参列下さいますよう御案内申し上げます。

昭和三十四年十一月
披露祝賀パーティー世話人会
代表　深津　栄一

（註記）準備の都合がありますのでご参列の方は御一報下さい。なお、会費は一人五百円です。



背振山荘竣工

【福岡発】福岡支部相談役真武信幸氏が建設運動を続けていた。青年の家「背振山荘」の落成式が去る10月29日午後３時より福岡市早良町脇山椎原の同山荘でおこなわれた。落成式は本会福岡支部が中心となり矢野支部長の司会で開会され、真武信幸氏の経過報告、本部から参加した奥田幹事長が挨拶をおこない、鳩山薫会長をはじめ各界名士の祝詞が披露された。最後に末永節翁（孫文と共に中国革命に協力初代の駐日中国大使）の音頭で万才を三唱して式を閉じた。同山荘は「友愛山荘」に準ずるものとして、本会々員をはじめ一般青少年に広く開放するもので、建坪120坪木造２階建、室数９室で大広間は30畳あり、収容人員は約70名である。なお附近にラヂウム鉱泉が湧いているので山荘にも温泉を引いてある。

【写真は落成した背振山荘の前に立つ真武信幸氏】

エバーソフトはブリヂストンが責任をもっておすすめする商品です。なかのゴムは勿論、カバーも特に吟味して良質のものを使用しておりますので安心して御使用して頂けます。最近　類似品がありますから、お買求めの節はブリヂストンのエバーソフトと御指定下さい。

エバーソフト

ブリヂストン
エバーソフト販売株式会社

―会員割引―
エバーソフト全製品を定価の二割引で販売いたします。
送料（関東・甲信越は当方が負担。その他の地方の方は実費をいたゞきます）
お申込は
友愛青年同志会事務局へ

歳末助け合い
ダンス・パーティー

例年通り会員の親睦もかねておこないます。
お友達とさそい合せておいで下さい（会員券の申込は事務局にして下さい）

と　き・12月15日（火）午後６時～10時
ところ・永楽ホール（大手町２野村ビル）
会　費・２５０円
主　催　友愛青年同志会婦人部

楽しみの多い証券貯畜
岡三の投資信託
只今募集中　1口　5,000円
あなたのマネー・コンサルタント

資料のお申込は
東京日本橋局区内
岡三証券業務部

岡三證券
本社　大阪市東区今橋2の3
支店　東京・名古屋・京都他全国主要都市